

令和 6 年度 施策評価表

施策	0401 国際理解・国際交流の推進	施策担当部	企画政策部	部長	山中 さと子
		施策担当課	企画政策課	課長	三岳 和裕
施策の方針	講座やイベントの開催による国際理解の推進や、海外の姉妹都市・友好都市との国際交流の活性化を図る。				
関連するSDGsのゴール	  				

【ＤＯ（実施）】

後期基本計画（令和３年度～令和７年度）における数値目標

指標名		単位	基準値 (R1)	R3目標値	R4目標値	R5目標値	R6目標値	R7目標値	R5年度	
				R3実績値	R4実績値	R5実績値	R6実績値	R7実績値	達成率	進捗率
①	中学・高校生のホームステイ派遣者数	人／年	8	8 0	8 0	8 0	8	8	0.0%	0.0%
②	国際交流プラザの利用者数	人／年	3,314	3,500 1,061	3,600 480	3,700 1,533	3,800	3,900	41.4%	39.3%
③	多文化講座の参加者数	人／年	2,943	3,000 703	3,000 1,021	3,000 994	3,000	3,000	33.1%	33.1%
④										
⑤										

施策達成状況の説明

①新型コロナウイルス感染症の影響で、海外の姉妹都市（ポルトガル共和国シントラ市、アメリカ合衆国サンカルロス市）とのホームステイ交流は実施できなかったが、上海市閔行区古美小学校の児童と三浦小学校５・６年生とでオンライン交流を実施した。
 ②国際交流プラザの年間利用者数は、R4と比較すると増加しているが、R2からのコロナ禍で中高校生の自習による目的外利用が大幅に減少した影響が続いていると見られ目標値を大幅に下回った。
 ③多文化講座（講座及び交流イベント）の年間参加者は、年度末近くに外国人講師が退職したことによる影響などから前年度よりも減少し、目標値も大幅に下まわった。

施策経費

(単位：千円)		R5年度 決算	R6年度 予算	R7年度 見込	特記事項
内訳	事業費	7,158	13,376	18,838	
	国庫支出金	0	0	0	
	県支出金	103	120	90	
	地方債	0	0	0	
	その他	2,933	2,933	2,933	
	一般財源	4,122	10,323	15,815	
	人件費	4,130	5,020	—	
フルコスト		11,288	18,396	—	

施策の概要（細施策）

040101	国際理解の推進	多様な文化を理解することのできる市民を育成するため、国際交流プラザを活用した、外国の文化・慣習・外国語などに関する講座やイベント、鎮西学院大学大村サテライトキャンパスの留学生と市民との交流イベントの開催など、多様な学習の場や機会を提供します。
040102	国際交流の推進	国際性豊かな市民の育成やまちづくりを推進するため、姉妹都市であるポルトガル・シントラ市、アメリカ・サンカルロス市や友好都市である中国・上海市閔行区との訪問団やホームステイの相互派遣等の友好・親善活動に取り組みます。 また、市民レベルでの交流を促進し、姉妹・友好都市関係の発展を図ります。

【CHECK（評価）施策担当部長】

施策を達成する上での問題点・課題

【国際交流事業】
 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、令和2年度から中止していた中・高生のホームステイ派遣について、令和6年度米国サンカルロス市は再開されたが、ポルトガルシントラ市とは、コロナ禍で途絶えた繋がりを再構築できず事業が中断している。県などの協力を得ながら、交流の再開に向けシントラ市と交渉を続けていく必要がある。また、中国・閔行区の小学生とのオンライン交流については、R4.5で実施した小学校とは別の小学校で引き続き実施していく。

【国際交流プラザ運営委事業】
 R5はコロナ禍が明け、プラザの利用者数が増加した割には、講座の参加者が伸び悩んだことから、周知方法や内容について再検討を行う。
 また、多文化共生の理念に沿った事業となるよう、事業所やボランティアなどの関係者に協力を仰ぎながた、事業を企画し実施する必要がある。

【ACTION（改善・改革）】

上記の問題点・課題を踏まえた事務事業の改善・改革や新規事業についての考え方

【国際交流事業】
 令和7年度は、サンカルロス市はもちろんのこと、シントラ市との相互ホームステイ事業の再開に向けて準備を進める。
 また、令和5年度から延期となっていたサンカルロス市内での姉妹都市通り壁画の完成記念式典にあわせた公式訪問については、いよいよ令和7年に実施することから、詳細な調整・準備を行う。

また、海外姉妹都市・友好都市と本市の子ども同士の継続的なオンライン交流を進める。

【官民連携型国際交流事業】
 大村市国際交流プラザ関連事業については、イベント内容や周知方法について、根本的な見直し・改善を図り、多文化理解講座への外国人を含めた参加者数の大幅な増加を目指す。

また、外国人が大村で生活するうえでの困りごとの把握に努め、国際交流プラザが外国人の依り所となるようニーズについて研究していく。

多文化共生を推進していくために、先進地視察や研究を継続して行い、実施体制の確立はもちろんのこと、本市ならではの取組を計画し実施する。また、日本語ボランティアの育成、市民への理解が深まるような取組も計画する。

令和7年度新規事業

事業名	担当課	令和7年度見込	対象・事業概要など
		事業費（千円）	
1			
2			
3			
4			
5			
		0	